

ヨコハマトリエンナーレ2020の開催報告について

1 開催概要

- (1) タイトル：ヨコハマトリエンナーレ2020「AFTERGLOW—光の破片をつかまえる」
 (2) 展覧会会期：令和2年7月17日（金）～10月11日（日）78日間
 (3) 会場：横浜美術館、プロット48
 (4) アーティスティック・ディレクター：
 ラクス・メディア・コレクティブ
 （インド出身の3人組アーティスト集団）
 (5) 作家数：69組



2 来場者数

153,528人（想定：約13万人）

<内訳>

横浜美術館	プロット48	日本郵船歴史博物館	関連プログラム等
73,782	44,269	10,251	25,226

3 チケット販売枚数

61,728枚（想定：約4万枚）

4 報道実績

3,876件（うち海外：227件） ※日本を含む25の国と地域、11月30日時点

<内訳>

（単位：件）

テレビ	CATV	ラジオ	新聞	雑誌	WEB	その他
23(0)	338(0)	36(0)	218(2)	114(17)	3,087 (208)	60(0)

※（ ）の数字は、海外の露出件数。内数。

<主な報道実績>

テレビ 日曜美術館（NHK）、めざましテレビ（フジテレビ）、ハマナビ（tvk）

新聞 朝日新聞、日本経済新聞、読売新聞、毎日新聞、産経新聞、東京新聞、
 神奈川新聞

海外 The Indian EXPRESS（新聞・印）、Flash Art（雑誌・伊）、Art Review（雑誌・
 英国）、Art Asia Pacific（雑誌・香港）、ART COLLECTION +DESIGN（雑誌・
 台湾）

5 主な取組

(1) 初めての外国人ディレクター登用

日本の芸術祭のほとんどが日本人の芸術監督を登用するなか、横浜トリエンナーレとして初めて外国人のアーティスティック・ディレクターを迎え、世界水準の国際展として、評価を高めることができました。



ラクス・メディア・コレクティヴ



横浜美術館会場の様子



プロット48会場の様子

(2) 感染予防の取組

- ・ 日時指定の予約チケットを導入
- ・ 会場入り口にサーモグラフィを設置
- ・ マスクの着用、こまめな手洗い・消毒、来場者同士の距離の確保
- ・ 会場内の換気や巡回による消毒の実施



サーモグラフィ



会場内の消毒液



会場内での注意喚起

(3) ICTを活用した新たな鑑賞機会の提供

- ・ バーチャルツアーサイトの公開：アクセス数 12,249 件（11月30日時点）
- ・ 映像作品のホームページでの公開：10月7日～10月11日の5日間限定
- ・ ヨコハマトリエンナーレ2020のデジタル空間「エピソードX」をはじめとした関連プログラムのオンライン展開

(4) 次世代育成の取組

- ・参加アーティストによるワークショップ

「さとうりさワークショップ」横浜市立みなとみらい本町小学校児童 120 名が参加

- ・学校団体鑑賞の受入れ

会期後半に少人数のグループに分かれてご入場いただくなどして一部の学校で実施

来場者数：5校 284名



さとうりさワークショップの様子



学校団体鑑賞の様子

(5) 社会包摂の取組

- ・分身ロボット「OriHime」を活用した鑑賞会 実施回数：21回、参加者数：138名

- ・若者支援プログラム（自立支援施設利用者を対象とした鑑賞会）参加者数：19名



「OriHime」を活用した鑑賞会の様子



若者支援プログラムの様子

(6) 横浜トリエンナーレサポーターの活動（サポーター登録数1,671名 R2.10.11時点）

- ・オンラインガイド実施回数：92回

- ・オンラインガイド参加者数：845名（うち海外からの参加者18名）

- ・アーティスト支援「清掃アクション」参加者数：10名



オンラインガイドの様子



アーティスト支援「清掃アクション」の様子

(7) 創造界隈拠点との連携

- BankART 1929、黄金町エリアマネジメントセンターとの連携チケットを販売
「横浜アート巡りチケット」 販売枚数：7,299枚

「BankART LifeVI『都市への挿入』川俣 正」

会期：9月11日（金）～10月11日（日）

「黄金町バザール 2020 アーティストとコミュニティ」

会期：9月11日（金）～10月11日（日）、11月6日（金）～11月29日（日）

- アートプログラム「Creative Railway」の開催

会期：9月26日（土）～10月11日（日）

会場：みなとみらい線各駅及びその周辺



BankART Life VI



黄金町バザール 2020



Creative Railway

(8) 地域との連携・まちへのひろがり

- 様々なイベント等との相互PR「応援プログラム」：56プログラム

- 企業等との連携

実施例①日産アートアワード2020（主催：日産自動車）

②Public Art's Light（主催：野村総合研究所）※アート鑑賞アプリ

③ストリートファニチャーデザインコンペティション

（主催：ストリートファニチャーコンペ運営委員会）

- 近隣商業施設等とのタイアップ：14件

チケット特典 7件、限定メニュー 5件、グッズ製作 2件



応援プログラム

「あざみ野ファミリー
ワークショップ」



連携プログラム

「ストリートファニチャー
コンペティション」



タイアップメニュー

「ヨコハマトリエンナーレ 2020
プレート」
（横浜ロイヤルパークホテル）

<参考>第1回～第6回開催実績

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
開催年	2001	2005	2008	2011	2014	2017
テーマ	メガ・ウェイブ 新たな総合に向けて	アートサーカス 日常からの跳躍	TIME CREVASSE タイムクレヴァス	OUR MAGIC HOUR 世界はどこまで知ることが できるか？	華氏451の芸術： 世界の中心には 忘却の海がある	島と星座とガラパゴス
ディレクター	アーティスティック・ ディレクター： 河本 信治 建昌 哲 中村 信夫 南條 史生	総合ディレクター： 川俣 正	総合ディレクター： 水沢 勉	総合ディレクター： 逢坂 恵理子 アーティスティック・ ディレクター： 三木 あき子	アーティスティック・ ディレクター： 森村 泰昌	ディレクターズ： 逢坂恵理子 三木あき子 柏木智雄
会期	9月2日～11月11日 (67日間)	9月28日～12月18日 (82日間)	9月13日～11月30日 (79日間)	8月6日～11月6日 (83日間)	8月1日～11月3日 (89日間)	8月4日～11月5日 (88日間)
主会場	[2会場] パシフィコ横浜展示 ホール(C,D) 横浜赤レンガ倉庫1号 館	[1会場] 山下ふ頭3号・4号 上屋	[4会場] 新港ピア 日本郵船海岸通倉庫 (BankART Studio NYK) 横浜赤レンガ倉庫1号館 三溪園 他無料3会場	[2会場] 横浜美術館 日本郵船海岸通倉庫 (BankART Studio NYK) 他無料2会場	[2会場] 横浜美術館 新港ピア	[3会場] 横浜美術館 横浜赤レンガ倉庫1号 館 横浜市開港記念会館 地下
参加作家数	109作家	86作家	72作家	77組1コレクション	65組	38組1プロジェクト
総入場者数	約35万人	約19万人	約55万人	約33万人	約21万人	約26万人
有料会場 入場者数※	約35万人	約16万人	約31万人	約30万人	約21万人	約25万人
うち中学生以下	記録なし	記録なし	記録なし	記録なし	26,381人	26,988人
うち外国人	記録なし	記録なし	記録なし	記録なし	4,501人	7,059人
チケット 販売枚数	約17万枚	約12万枚	約9万枚	約17万枚	約10万枚	約10万枚
サポーター 登録者数	719人	1,222人	1,510人	940人	1,631人	1,474人
サポーター 会期中 のべ活動数	記録なし	記録なし	記録なし	1,340人	2,449人	3,289人
報道実績	237社以上 (うち海外36社以上) ※掲載件数は記録なし	1,089件 (うち海外40件)	1,233件 (うち海外165件)	1,763件 (うち海外139件)	3,899件 (うち海外117件)	6,923件 (うち海外314件)

※ 有料会場入場者数は、有料会場の延べ入場者数